

令和4年度 子どもさわやか賞 受賞団体の活動紹介



大阪府立池田高等学校

呉服の里で守られている桜の落ち葉拾い及び溝そうじ等の清掃活動

高槻市立桜台小学校

高槻市社会福祉協議会が歳末たすけあい運動の一環として実施している、年末最後の見守り活動である、ひとり暮らし高齢者対象「おせち料理の配食」に桜台小学校1～2年生の手紙を添えている。“おじいちゃん、おばあちゃんへ”で始まる手紙には、学校での出来事、好きな教科、今頑張っている事、将来なりたいことなど一生懸命書かれている。

光風台小学校区子ども会

子どもたち主体を大前提に大人が手助けし、様々な活動を行っている。

- ・年2回(4月、8月)老人クラブと一緒に地域の公園美化活動を実施。
- ・年1回(5月)運動会前に小学校グラウンドの石拾い、草取り活動を行う。
また、校庭の隅に子どもたちが制作設置した防災用の「かまどベンチ」で石拾いの後、カレーを作って新しい年度の顔合わせ会をしている。
- ・年2回程子どもたちの希望で計画したもの…“チキンラーメン館”見学、“鉄道博物館”“神戸動物王国”見学、野外活動センターでのキャンプ、地域のお百姓さんとの田植えと収穫体験などを行っている。

富田林市立喜志小学校

子どもたちの発案で、委員会の時間に校区内を清掃したり保護者や地域の方々と共に学校周辺や河川敷公園を清掃する「喜志ピカ大作戦」を実施。また、「あいさつはみんなの心をスマイルに」をスローガンに掲げたあいさつ運動を共に継続している。活動を楽しみ続けるよう「Good Job チケット」を配布し、子どもたちや保護者に記入してもらったチケットを紙にはり「Good Jobの木」を作成し、取り組みの見える化を進めている。

寝屋川市立梅が丘小学校

毎年、児童先生が変わる中、ソーランの大阪城での大会に参加しており、校区の行事でソーランを踊ってもらっている。「子供から高齢者まで元気なまちに」という思いをもち活動し、一生懸命な踊る姿に、感動、元気がもらえる。高齢者、障がいのある方、幼児、年齢を問わず地域が一体化できる楽しい時間となっている。



西中学校区 Be a Hero プロジェクトチーム

全校集会などを活用し、仲間を想う気持ちを訴えかけ、集団の質を高めることで、いじめを未然に防ぐことに取り組む。一方、困っている仲間を放っておかない人間関係の構築をめざす。高向小、天野小、西中の3校が合同で取り組んでおり、各校の実態や発達段階に応じて、最適な取り組みを考案しそれぞれ取り組んでいる。

南河学園附属国分保育園

2歳児から5歳児が、デイサービスを訪問し歌、手遊び、ふれあいゲームをして楽しいひと時を過ごしたり、手作りのプレゼント交換を実施している。コロナ禍で訪問できないときには手作りのマスク入れケースを送り大変喜ばれた。

土生町2丁目子ども会

子どもたちが主体的に動き、親・地域の人たちが手伝う形をとっており、梅雨時には草ひき、秋冬には枯れ葉・落ち葉集め等四季を通じて公園に散乱している空き缶・空き瓶紙類等のゴミ集めの清掃活動。学年違いの児童達が今ではボランティア活動の仲間として仲良く協力し合って清掃している。

岸和田学園 アトリエズガ

子どもたちの主体性や独創性に任せて全身が絵の具まみれになりながら感情の赴くままに描くアート作品、大勢のお客さんの前で1発勝負のライブペインティング、手作り凧での凧揚げ大会、人が入れる超巨大シャボン玉作りなど子ども達の秘めた好奇心や探求心をくすぐる、奇想天外な制作活動を行う。

社会福祉法人 大阪西本願寺常照園

2017年にスタートしたRocks ForChile（ロックスフォーチル）のイベントの中で、2019年より児童養護施設に入所する子どもたちの主体性を尊重し、また自立に向けた取組として、イベントの会場内で地域の料理家たちと共にビスコッティの製造、販売を行い、自尊心の向上や社会性を養っている。

